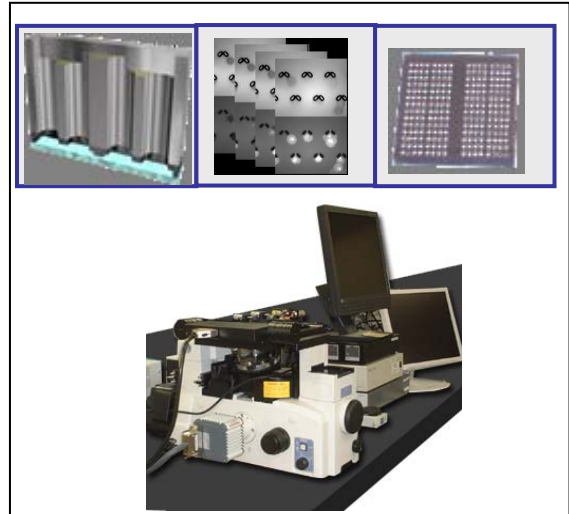


細胞機能を解明する新技術を開発 株式会社エフェクター細胞研究所

開発の経緯

- 患者個人に合わせた病気の予防や治療を目指す「オーダーメイド医療」の開発が進められています。
- 本事業では、細胞が運動する様子を観察・解析する技術を開発しました。



製品の特長

<製品名:TAXIScan>

- 患者の生きたままの細胞の活性、機能、表現型を直接観察でき、患者さんの状態を直接反映しているため、患者さん個人に合わせた病気の予防や治療を目指す上でより確実な方法であると考えられます。
- 細胞機能についての基礎的な研究のほか、アレルギーやぜんそくなど疾患のメカニズム解明、薬剤開発や診断技術確立などへの応用が期待されており、引き続き研究開発が行われています。

導入事例

- アレルギーなどにおける走化性受託試験業務、マスト細胞脱顆粒受託試験業務、共同研究などを実施しており、国内外の製薬会社や食品会社など複数の企業に技術を提供した実績があります。
- 海外大手製薬企業のアストラゼネカ社からは本技術を高く評価され、共同研究を通して技術の提供を行っています。この共同研究の結果、ぜんそくやCOPDなど疾患に対する新規な診断技術が確立されることが期待されます。

会社情報

企業名:株式会社エフェクター細胞研究所

住所:東京都渋谷区南平台町16-11 7階

電話:03-5428-2252

資本金:18億9,190万円

事業概要:医薬品の研究・開発を行う創薬及び創薬関連事業、

バイオ/ヘルスケア関連製品の販売等を行う創薬ツール供給事業、総合美容事業

代表者:金ヶ崎士朗

URL:<http://www.effectorcell.co.jp/>

設立:平成11年6月1日

従業員数:55名(連結)

SBIR補助金等概要

SBIR補助金等名:地域新規産業創造技術開発支援制度に係る補助金(平成14年度)

交付機関:経済産業省 <http://www.meti.go.jp/>

採択テーマ:自動微量細胞走化性測定装置の開発